

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G00101	<p>私が取り組むべきだと思う取り組みは、柱I健康長寿の中でPJ3の高齢者とPJ4の障がい児・者のところで介護サービスや社会的障壁の排除とあるが、生活しやすくするためには、バリアフリーを強化すべきだと感じる。私の住んでいる川崎市などの駅は比較的新しくなっているのにバリアフリーに力を入れているが、ある駅では階段とエレベーターで移動が大変であったり、私の最寄り駅では最近つけられているが、ホームドアの設置を他の駅でもやるべきではないかと考える。小さい駅は予算がないのかもしれないが、小さい駅こそより危険が多いと思うので、高齢者・障がい児・障がい者が居づらくない駅にしたなら、気軽に利用しようとするにつなげるのではないかなと思うからである。</p>	健康・福祉
20G00201	<p>高齢化の問題だと思えます。そこで介護福祉士の増員です。例えば家族がとも働きで母親の面倒がみれないとなり、介護福祉士に頼みたいのだからなかなか近くにないとなるときにとっても困ります。私は介護福祉士が全然足りないのではと考えます。介護福祉士は3Kと言われてます。最近給料も上がっていると聞きますが、それを知らない人も結構いるためそういった職に就きたいが給料が低い生活ができなくなりそうといった固定概念も抜けきれていないところがあると思えます。なので今後の取り組みとしては、若者がよく使うサイトやSNSを使いそういった概念をなくそうとするのが良いのではと考えます。また介護福祉士が働いている職場の福利厚生や働き方改革の見直しも必要かと思えます。これからもっと高齢者が増えていくなかで介護福祉士の人手が足りないとなると大変になるため拡充を目指すこと、そして介護福祉士が増えていくと仕事の割り当てができ、3Kである「きつい」の部分も緩和されるのではないかなと思えます。</p>	健康・福祉
20G00301	<p>高齢化社会が訪れると言うことでどうしてもこの、最先端医療と最新技術の追求と「未病の改善」の2つのアプローチを融合し、健康寿命の延伸をめざす「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取り組みや、人生100歳時代において県民の一人ひとりに多様な生き方を考えていただくための取り組みを進めていますとあるが、まさしくこれが必要であると考えます。やはり病気の治療と高齢者のための対策が必要不可欠だと考えるため、医療の発展は必要だと考えます。</p>	健康・福祉
20G00401	<p>かながわグランドデザインのプロジェクトには治安も含まれており、事故や犯罪なく安心安全に暮らせることや夜一人歩きしても安全だと思える満足度や割合を高めていくことを指標とし、それを実現してきている。少子高齢化の時代で高齢者を狙う詐欺や子供、女性等に対する犯罪の被害は依然後を絶てていないので情報通信技術は不可欠。パトロールやAIを利用し、ICT等の活用。サイバーセキュリティ、有りとあらゆる体制と対策を強化し、犯罪の抑制と検挙率の上昇を目標とし、高齢者の認知検査や免許証の自主返納の呼び掛け。地域での交通指導や安全教育を推進し、交通安全施設等の整備を適切にしていくことによって、交通事故の防止に繋げて行くことがプロジェクトの一つである。</p>	安全・安心
20G00501	<p>かながわグランドデザインの各プロジェクトを見て私が思う今後の課題や県が取り組むべきだと思うことは健康長寿、経済のエンジン、安全、安心、ひとのチカラ、まちづくりを2025年までに実現とあったのですがすべてのものを5年以内に基盤をつくり実現させるのは現実的に難しいものなのではないかと思ったので何か一つに絞って徹底的に取り組んで行ったほうが良いなと思いました。私はこれから超高齢社会に進出していくにつれてその基盤づくりを徹底して行ったほうが良いなと思いました。なので健康長寿の部分に1番に力を入れていくべきだと思いました。まだまだ介護、福祉サービスの充実がなっていないと思うので、何か具体的な対策を立て実行していければなと思いました。</p>	健康・福祉
20G00601	<p>神奈川グランドデザインの各プロジェクトについての資料を読み私が必要だと思った事は健康情報の活用による効果的な施策の推進をさらに取り組んでほしいと思った。今年の初め私の母のがんの診断をされ家族全員が不安になった。結果的に命は助かったのだが発見が遅れていれば危ない状況であった。母は自分の体の不調にいち早く気づき健康診断に行ったのが幸いであった。しかし健康診断に行くと言う判断が少しでも遅れていれば取り返しのつかないことになっていたかもしれないと思う。なので県民に健康診断を義務に近いような形で進めていけば自分の健康情報をしっかりと把握でき未病改善が効果的にできる社会になっていくのではないかなと思った。</p>	健康・福祉
20G00701	<p>私はこの政策の中で柱IVプロジェクト12の男女共同参画とプロジェクト13子ども・青少年に重きを置きました。男女共同参画という名前だけあって、女性の就職率や管理職の増加、M字カーブの改善、育児との両立などに力を入れていることが良くわかる。しかし安心して子育てできる環境という割合の目標値が20%とは低いと感じた。そこには保育施設、保育士不足からくる待機児童や男性の育児休暇取得率の低さが問題だと思う。男性の育児休暇取得率が約5%が女性の約83%に比べても低いことから、これらが関係してM字カーブの低さを引き起こしていると予測できる。保育士の人手不足解消のためには保育所を紹介だけでなく、保育士の働く環境改善も必要。さらに保育施設の受け入れ時間や曜日などを柔軟にし、子どもを預けて安心して働ける環境整備につなげる必要があると考えた。子育て応援パスポートはとてもいいと感じたため、割引だけでなくほかにも多様なサービスを増やして神奈川県で出産、子育て増加につなげると思った。</p>	県民生活

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G00801	神奈川県運営のランドデザイン実施計画について、現在までに行っている活動や今後行われる活動を通じて、もっと神奈川について触れる機会が多く与えられることであると考えます。特に、若者世代でのプロジェクト実施計画、例として、神奈川のまちづくりやそれぞれの地域活動といった神奈川県の地域発展に繋がる計画を実施すべきと考えます。私達と同じ世代での活動を通じてこれからの神奈川県の地域発展と政策展開に繋がる基盤として、将来性では魅力的溢れる神奈川県に発展することが課題であり今後の実施計画として考える。現在では、新型コロナウイルスによる感染拡大が懸念されている中ではあるものの、一つでも多くの計画と政策に取り組むことも重要であると考えます。	その他
20G00901	スポーツについて 私自身、運動をすることはすごく好きで小学校から習い事として複数のスポーツをおこなってきた。しかし、スポーツをするにあたって、興味がないと幼少期は特に続かないと思うので、楽しく興味がわくスポーツ環境作りが必要だと思う。幼少期からスポーツに親しんでいけば、大人になっても体を動かしたいと思い、自発的に運動するようになるので、まずは子供達のスポーツをするにあたって親しみやすい環境づくりが必要だと思う。 最近公園でもボール禁止など規制が厳しくなっていると感じるので、公園にネットをたてて外にボールが出ないようにするなどの環境づくりをもっとおこなって欲しい。	県民生活
20G01001	私は、スポーツにおいて、県内プロスポーツチームを地域活性化につなげられないかと思う。神奈川県にはJリーグに加入しているサッカーチームだけで5つあり、それぞれのチームが地域に根差したチームになれるようにピッチの外での交流イベントを大切にしている。オリンピックが延期になってしまいアスリートの活躍する姿を間近で見ることが少なくなる中で、運動する習慣としてのスポーツは未病という考え方に合致するし、観戦するスポーツも感情を豊かにする要因になると思う。これからのスポーツ観戦はwithコロナということのできることで出来ないことがあると思うが、県として全面的にバックアップしてスポーツを楽しめる環境を整備していくべきだと思う。	県民生活
20G01101	プロジェクト4 障がい児・者において今後の課題は未だに社会に残っている障がい児・者の社会的障壁の払拭や彼らに対する理解促進である。海外では障がい者に対する社会的障壁が除去されつつあり、彼らを認知し、理解すべきであるという考えになってきているが、日本は未だ障がい者の社会的障壁が蔓延しており、進んでいないという印象がある。では県として何が出来るのかという今後の取り組みについてだが、施設に入っている障がいのある方や社会に出て活躍している障がいを患っている方などを交えた県との意見交換の場や、社会的認知を広めるための講演会の開催、県が実施していることの発信を行うことで、この問題について神奈川県を筆頭に広がっていくのではないかと考えた。	健康・福祉
20G01201	やはり今後は少子化がさらに進行して行くと思うので、この問題を解決していくべきであると思う。そこで、私は子供を産んだ家庭に県が補助金もしくは祝金という形でお金を給付するべきであると思う。やはり子供を産みたくても産めない理由として、お金が無く経済的に厳しいからというのが大きいのと思う。そこで、県が子供を産んだ家庭に補助金もしくは祝金という形でお金を給付することで、経済的に余裕が出て、子供を産む人が増え、少子化問題も解決の方向に進むのではないかと考える。また、子育てをするにあたって、環境はとても大事になってくると思う。例えば、近所に空き家があると、不審者が出たり火災が起こる可能性が上がるため、空き家があるのであれば、子育ての相談所などにし、親の不安などを聞く場所にしたほうが県自体の幸福度や住みやすさも上がり、他県から移住してくる人も増え少子化も解決の方向に進むのではないかと考えるので、これらの取り組みは行っていくべきであると思う。	教育・子育て
20G01301	かながわランドデザイン評価報告書2019を参考にして、高齢者の割合が多いため、より長寿を目指して活動したものは目標値よりも高く達成することができたことがわかったため、これからも継続していけば良いと感じた。	健康・福祉
20G01302	エネルギーのところで地球温暖化が進んでしまっているため、省エネや創エネに関する意識などを変えていくために、幅広い年齢層の方々の耳に届くように発信していかなければならないと思う。再生可能エネルギーを使った政策を考えていくことが大切になると考える。	エネルギー・環境
20G01303	様々な業種において就業者数が減っていることがわかるのでICTやIoT及びAIの活用によってよりスマートに活動ができるような技術の導入を行った方が良いと考える。	産業・労働
20G01401	神奈川県の今後の課題として挙げられるのは未病に対する認知度と理解度だと思います。人とのつながりによって町が作られていると思います。であれば、人が健康でいることが一番のポイントだと思います。この対策として、小中学生の段階から病気やケガに対する認知度を上げるために授業などで時間をとり、「未病」という考え方について理解しておくことが大切だと思います。また病院またCMやYouTubeなどで説明の動画などを出すことで実際に病気になっていない健康または未病の人々に知ってもらうことができると考えます。	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G01501	<p>かながわグランドデザインの柱Vプロジェクト18の地域活性化について、記載していく。評価報告書に記載があった、指標の動向である鎌倉市を除く三浦半島地域観光客消費額が2017年度よりも2018年度の方がおよそ10億円増加傾向にある点はとて評価すべきことであり、注目されている結果なのかなと思う。今年に関しては新型コロナウイルスの影響により、インバウンド需要が見込めないため、参考にはならないと思うが、緊急事態宣言解除後、郊外への小旅行が注目された点から、三浦半島や逗子への観光客が増えたように感じた。今後、京急電鉄が行っている三浦マクロ切符のような、小旅行客をターゲットにする政策を打ち出すことが有効策だと思う。海側だけでなく、県西部の山や湖も紅葉シーズンになると多くの観光客を見込めるため、季節に合わせて、海側、山側とプランを分けるのも面白いと思う。</p>	産業・労働
20G01601	<p>かながわグランドデザインの、実施計画として、プロジェクトの5つの柱が挙げられた。健康長寿、経済のエンジン、安全・安心、ひとのチカラ、まちづくりが挙げられた。神奈川県は、広いが川崎市には、行くことが多い。その中で、いつも下水が悪臭を放っている。健康長寿を目指すのであれば、避けては通れない問題なのではないかと考える。これを改善することにより、健康長寿と、まちづくりが少し良くなるのではないかなと思う。まちづくりに関しては、環境、自然、都市基盤とある。その部分に作用されると思う。神奈川は、地域によっての人口に差があると考えている。大きな都市に関しては、ごみや下水などの問題が発生してくると思う。</p>	県土・まちづくり
20G01701	<p>プロジェクト1から4を含む健康長寿の柱の課題として、全般的に若者に対する支援があまりに政策に盛り込まれていないと考えます。近年の児童の運動能力の低下、高校生以上の若者の精神疾患の増加傾向等が社会問題となってきている中、高齢者や障がい者の様な社会的弱者を支援するのではなく、今後医療では治ることのない傷を負うことになり得る者達への支援にとり組むべきだと感じた。</p>	健康・福祉
20G01702	<p>プロジェクト11に関しては、犯罪減少の対策として、横浜市などで現在増加している外国人移住者と地域住民の交流施策等をすべきだと感じました。理由としては、スーパーなどで起きている万引きや深夜などの不審者など、未だ日本へ移住して間もない方々の日本でのルールになじめていないが故の事だと考えています。なので神奈川は今後外国人移住者に対しきちんと日本のルールを覚えてもらうと共に地域住民に対しても再確認できる機会を施策を通して作るべきだと考えます。</p>	安全・安心
20G01801	<p>かながわグランドデザインのプロジェクト資料を見て、今後の課題だと思ったことは、安心、安全のところの治安に関するところが課題なのではないかと感じました。その理由は神奈川県は大都市でもありたくさんの方が往來します。その中には日本人ではないたくさんの方の国籍の方がいると思います。地域の治安を守るという点から警察組織だけでなく地域住民の力を借りるなどやれることはたくさんあると思いました。県民ニーズ調査の満足度をもっと上げて神奈川県に住む住民の安心、安全の向上に務めて欲しいと思います。</p> <p>このような取り組みを全国各地で行うことができれば、日本という国がさらに安全で住みやすい国になると思います。</p>	安全・安心
20G01901	<p>私が、今後県が取り組むべきだと思うことは、災害対策ではないかと思っています。理由としては、今後関東圏で大きな地震が起こると言われていて、東日本大地震級の大地震が関東で起こった場合、予想もできない被害になると思います。神奈川県は、海も近いということで津波の被害が出ると思います。多くの命を守る必要があるし、強いまちを作る必要もあると考えます。災害が起こった時、いち早く避難をすることが大事ですが、避難場所を確認、安全な避難場所ということも大事になってきます。揺れに強い建物、食料不足、生活必需品の不足の問題にならないように備える必要もあります。いろいろな取り組みをしているのはわかったのですが、実際に災害が起こったらうまいことはいかないと私は東日本大震災を経験して思いました。意識づけが大事になってくると思うので、常に気を張って取り組みをするのがいいと考えました。</p>	安全・安心
20G02001	<p>コロナ禍の今、感染拡大防止に努める必要があると感じた。対策としては、医療物資の供給確保への協力やテレワーク・時差出勤の拡大等に係る呼びかけなどが重要だと考える。具体的な対応としては、「医療現場で不可欠なマスクや医療用ガウン代替品等の社内備蓄を提供し、赤十字病院、労災病院の拠点から、各医療機関へと届けること」や、「感染予防に向けて、テレワーク・時差出勤の拡大に係る呼びかけを継続的に実施し、感染拡大防止に大きな役割を果たすと同時に、働き方に対する人々や企業の考え方に影響を与え、社会変革のきっかけにする」といったことが求められると予想する。</p> <p>他にも医療提供体制の整備や検査体制の拡充もある。医療従事者の負担、医療機器・物資の供給、病床の確保といった各側面から、医療提供体制に係る平時の備えと緊急時の対応のあり方について検証を行い、次なる感染拡大に対して周知の備えを行う必要があると考える。</p>	健康・福祉
20G02101	<p>プロジェクト1の未病に関するプロジェクト。未病という言葉の認知度が低いように思える。まずはこの未病という言葉の認知を広げる活動が必要だと思う。年々増えているようなデータもあるが、日常に元々その取り組みと同じことが含まれている人もいるのではないかな。未病の改善という認識ではなく、自分の健康管理としてのものもあるのだと思う。この健康管理が増えるには未病という存在の認知を広げることによって健康に対しての更なる意識向上になるのではと考える。元気な高齢者が増えていることは確かだ、実際にそれを見かけることが増えたと思う。ただ高齢者はICTを活用することは難しいのでそのICTを補えるものがあれば全体的な未病対策になるのだと思う。</p>	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G02201	私が課題だと感じたことはプロジェクト19の多文化共生であると思います。神奈川県は横須賀や厚木、座間、相模原などに多くの在日米軍の施設があるため、他県に比べ多くの外国籍の方が在住しています。入管法の改正や来年のオリンピックが神奈川県内でもおこなわれるため今までよりも多くの外国人の方が神奈川県を訪れることが予想できます。このため日本で就労する外国籍の方も多くなり、観光で訪れる人と共生していくためには迎え入れる側である神奈川県民の方々も外国の文化などについて積極的に学んでおく必要があるのではないかと思います。外国の文化を学ぶことにより今後発生が懸念される南海トラフ地震が起きた際の避難所生活でも外国籍の方とスムーズに共同生活ができると思います。	県民生活
20G02301	コロナが増え続け、今後消えるのかわからない今、コロナと共に生きていく事を前提にして、今後の対策をしていく事が1つの課題であり、今後の医療人材の育成・確保にはコロナについての専門的な知識も付ける、医療の専門学校や病院を支援する為の取組などに力を入れていく必要がある。未病改善について、そもそも自分は未病改善という言葉は初めて聞いた。自分が無知すぎるだけなのかもしれないがこの未病改善というのは認知が低いのではないかと思われる。つまり、未病指数というものを作ったとしても認知がされてなければ利用する者も少ないと考えられるので、SNSや神奈川のゆるキャラを使うなど、人々の印象に残るような形で認知を増やし、利用者を増やしていくといった取り組みが必要である。また、未病改善をするにしても忙しくて「食」だけにしか手が回らないような、未病改善に余裕がない人々に対しても働き方改革など、何かしら自分の時間が取れるように支援をするべきだと思う。	健康・福祉
20G02401	今回のかながわランドデザインの各プロジェクトにおいて取り組むべきだと思うことは未病の対策だと思いました。これから人生100年時代に突入していくうえでかなり重要な項目だと思いました。	健康・福祉
20G02402	そのほかにも県が取り組むべきものは、若者への社会参加を促すような政策がよいのではないかと思います。最近の若者は社会への参加の意欲がとても低いと思うのでそこを改善していけば神奈川県をもっとよい場所にできると思います。たとえば発達させたい事業の会社に就職したときに少しボーナスのようなものを出したりするのがよいのではないかなと思いました。	県民生活
20G02501	私が思う今後の課題や県が取り組むべきだと思うことは、ランドデザインの柱Ⅳひとのチカラだと思っています。これからの社会では、AIなどが発展し働き手がなくなると言われておりますが、ひとのチカラがなければ何事も出来ないで、まずこれからの未来を背負っていく子供たち、特に高校・大学生の力というのはとても大切になってくると思うので、その世代を成長させ働きに導くようにし、これからの社会を背負っていくようにする取り組みはとても大切ではないかと考えました。また、女性の力も必要不可欠であるので、女性が結婚し子供を出産してからでも、職場復帰できる場所や体制をしっかりと作るなどにもしっかりと取り組んでいかなくてはならないのではないかと考えました。	教育・子育て
20G02601	プロジェクト9:減災 現在、余震が神奈川県内で度々発生し、南海トラフ自身や首都直下型地震が予想され、県民の災害への危機管理能力、対応力が課題である。今後県が取り組むべきこととして、県民の防災訓練への参加を義務化し、「防災訓練をめんどくさい、忙しいから参加しない」という方を強制的に参加せざるを得ない状況をつくる取組が必要ではないだろうか考える。しかし、コロナ禍により、人の集まりを自粛し接触感染を防ぐ必要があり、防災訓練を実施することが困難であることを鑑み、「オンライン防災訓練」を実施すべきだと思う。具体的には、Zoomを利用し、Googleマップのストリートビューを共有しながら、どこに避難すべきだという指示を仰ぐというものである。	安全・安心
20G02701	私の考えるかながわランドデザインのプロジェクトで思った県の課題は、神奈川県内の地域のコミュニティをもっと高めた方がいいと感じた。やはり、子育てや若い世代を育てるというのはすごく大切で、将来の為に本当に大事な事だと思う。その中で、地域のコミュニティがしっかりしていないと、子育ての悩みもあまり言えないし、そこでうまくいかないで家庭内でトラブルがあるとダメだと思う。「社会全体で子育てを支えるしくみの充実が重要」と言っていた。まさにその通りだと思う。私は、神奈川県に、地域のコミュニティが高まる、ふれあえる場をもっとつくってほしいと感じた。お金のかかる事なので、すごく難しいと思うが、これが私の考えた意見である。	教育・子育て
20G02801	プロジェクト4番の障がい者・障がい児について 身体障がい者に対する対外的なサポートというのは比較的一般人の視界に入りやすいと思います。しかし発達障害などに対するサポートはまだ発展途上な部分があるかと考えています。教育現場以外でも企業やあらゆる共同体において発達障害や精神障害に関する理解が得られるようになっていくような方向性ができたら、より多くの人々の社会参加につながるのではないかと考えています。また、発達障害などについて「手帳を貰うレベルじゃない(と自分で思っている)けど、普通に暮らすのが苦しいな……」といった方への支援だったり、それこそ、発達障害の人でも健常な人でも暮らしやすいような環境の整備という部分に着目してもいいのではないかと考えました。	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G02901	<p>私は健康長寿の医療や未病が大事になってくるのではないかと考える。日本では全国的に少子高齢化が進んでおり、この先高齢者の数はどんどん増えていく。そのような中で高齢者を支える働く世代ひとりひとりにかかる負担もまた増加していくことになる。高齢者の数はこの先放っておいても増えていく事は避けられないが、少子化は放っておいて勝手に解決する問題ではない。そのためどうしても避けられない超少子高齢化社会において高齢者の活躍もまた重要になってくると考える。</p> <p>単純に定年退職の年齢が伸びるなどが起こってくるかもしれないが、それとは別に高齢者の方々による地域創生に期待したい。若者に色々任せるとは高齢者本人たちが生き生きと活動的に地域を盛り上げることがそのまちづくりにとっても大きな力となるのではないかと考える。そしてそのためには高齢者の方々にも健康でいてもらうことが重要になるのではないかと考える。</p>	健康・福祉
20G03001	<p>現代でも障がい児・者に対する偏見は多いとよくきく。だから、今後の課題として偏見を無くすために健常者と触れ合う機会を多く持った方が良くと思った。実際数回触れ合えただけではその方たちの苦労さや大変さはわからないと思う。小学生から高校生の範囲だけで共に学んだりするだけでなく大人の方が偏見をもつ時代になってきているので共に仕事をしたりと場を設けた方が障がい児・者の人権をより尊重できるのではないかと考えた。かながわのプロジェクトから障がい児・者の人権を守ることを始めてそれで終わりではなくそのプロジェクトを広めることが大事であり、そのことがより多くの人を救えるプロジェクトにつながると思った。</p>	健康・福祉
20G03101	<p>プロジェクト22の環境について考えました。神奈川県湘南海岸や箱根など海も山もある自然に恵まれた地域の中で環境についての問題は他県より積極的に取り組むべきだと思う。SDGsなど環境問題をテーマにしているものもあるが認知度はイマイチだと思う。仮に知っていたとしてもSDGsと言われてもイマイチピンとこないのではないのかなと思う。そこでプラスチック削減など身近なことに取り組みそれに慣れつつある世の中でサステナブルに力を入れるべきだと思う。サステナブルコーヒーやサステナブルフードが認知されつつある中で神奈川県がそれを大きくバックアップをしてサステナブル商品を広めていけば自ずと環境問題も改善されていくと思う。</p>	エネルギー・環境
20G03201	<p>少子高齢化に伴う高齢者の人口増加。 各地域の行政も取り組んでいる高齢者への福祉サービスの強化。 神奈川県では最先端技術の医療技術への追求をしている。 現在コロナ禍において高齢者の感染者も増えている中、神奈川県は最近特に感染者の増加が目立っています。 ソーシャルディスタンスの啓発の再強化なども行いつつ新型コロナウイルスの対策を最優先に強化していかないといけないと感じた。 「誰もが元気に長生きできる神奈川」というキャッチコピーの通りに新型コロナウイルス対策への一人一人への意識付けや危機感をもっと重点的に促していかなければならないのかなと思いました。 またこの問題を解決していかないと限りは、経済的状況を熟考していくことは難しいのかなとも感じました。</p>	健康・福祉
20G03301	<p>かながわグランドデザインの各プロジェクトにおいて、今後の課題、県が取り組むべきであるプロジェクトは、プロジェクト2の医療を強化すべきだと感じる。</p> <p>現在少子高齢化が進む中、今後超高齢化社会が訪れる。高齢者になるにつれ体が弱り、若者では平気であっても病気にかかりやすくなる。もしくは治りの経過が長引く、さらには難病へと悪化する恐れもある。そうなると思いたくなくても病院に行かなくてはならない。そうなると思えば医療機関の充実が必要になる。医療機関の充実とは医療費の安さをはじめ、病院の数、医療の技術が大きく挙げられる。神奈川県含め他自治体も政策を行っていると感じる。</p> <p>しかし、高齢化社会に伴い新型コロナウイルスによって、多くの病人が出ている。そうなると思えば多くの病院が必要になり、入院者が入れる多くの場が必要になる。今や、新型コロナウイルスによって一部のホテル施設を借り、患者を預かる行いを行っている。超高齢化に向けて医療機関の強化を上げていくことが望まれるが、新型コロナウイルスによって迅速な強化が設けられる。何より、感染関係は人にうつるため、隔離しなくてはならない。今後新たな伝染病が来ないとは限らない。そのため病院を増やすのは困難だと感じる。そのため、どこかの施設を借りるなどが必要となってくる。そこで、広い空き家などを医療機関が使い、仮医療施設を造ることが必要である。あるいは今後、伝染病や、県が抱えるほどの重度の時だけ、ホテル施設と連携し、患者を預かる政策作りなど今後ずっと続けられる政策が医療機関の充実につながるのではないかと感じる。</p> <p>そして、医療機関の充実も大事であるが医療を行っているものに対して、もう少し考える必要がある。私は県内の看護師の友人が多いが、その友人のほとんどが看護師になりたくて看護学校を出て看護師になっている。しかし、看護師になって半年で皆気づく。人の命を預かり看病しつつ、医師の補助を行う大変な仕事である。むろん地方公務員、準公務員扱いにあたるが、全員ではないが資格を取りつつそれだけの仕事をして国の医療機関として勤めているが給料が見合わないと感じるものが多い。そして、1、2年経つ友人は不満を抱えながら医療を行っている。その友人だけがそう思っているのかというとそうではない。友人の周り先輩、後輩、皆感じているとのことである。人を治す医者、給料は高いが、病院のすべてを管理する看護師は見合っていない。医療機関の充実を強化することは大事であるが、その医療を根っこから支える看護師に行える政策をするべきだと感じる。病人と接し、病気がうつる覚悟で戦っている看護師が病棟外で何か喜ぶ政策(むろん給料の増加も含まれる)を行うことが一番だと考える。第一に医療を支える人への取り組みが、病人を治すための更なる活気へとつながるのではないかと感じた。</p>	健康・福祉
20G03401	<p>2019年のかながわグランドデザインを見る中で多くのプロジェクトが目標値が実績値に近かったです。その中で私が今後必要だと思う取り組みは、男女共同参画の中にLGBTQの人々が我慢せず自分らしく生きていける社会への取り組みです。例えば、同性パートナーが異性パートナーと同等の権利が与えられるようにパートナーと認めたり、働くときにもいじめや差別を受けないようにする取組が必要だと思いました。</p>	県民生活

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G03402	KPIが低かった動物愛護の分野では、飼い主に向けて当たり前のことですが、動物を飼う時の心得のようなものをマニュアル化して、広げることで少しでも保護される動物が減ればいいなと思いました。	安全・安心
20G03501	未病対策など人生100年時代に対応する取り組みを行っていく事によって長い人生を送る方が増え、今までと比べて元気な高齢者も増えてくる。また、少子高齢化によって人口が減っていく事から、高齢者の力も必要であり活躍できる場を作っていく事が課題である。 協働連携の形としてNPOの支援や企業、大学との連携が進められているが、高齢者は定年などによって企業に属していることや大学に籍を置いている方は少なく、また募金などは経済的な負担で参加しづらく、活躍している実感も得づらい。今後高齢者の数が増えていく事を考えると高齢者の力を活かした取り組みは必要であり、市民との協働連携の強化に取り組んでいく必要がある。公益事業への参加や協働連携など高齢者の社会活動への参加のしやすさを確保していく事が課題である。	健康・福祉
20G03601	私が一番目を向けるべきだと思う課題は男女共同参画についてである。はっきり述べると男が働き女が家事という時代は時代遅れである。そもそも昔とは給料や経済状況が違うため、昔と同じ発想で縛り付けるといことが愚の骨頂であるとする。「男しかできない仕事は」などと言っている時点で遅れているのである。そんな現代でも昔と同じ発想しかない人もいる。そしてそんな人が上にいるために女性が不遇な扱いを受けている。性別が違うだけでこうも扱いが違っていいものなのかと私は考える。また、女性議員へのセクハラなど下に見ていないとそんなことはできないと思うような人もいる。そのため国が変われとは言わないがせめて神奈川県だけでも、一部の地域だけでもいいから平等で成果主義な社会を一つ創ってほしいと私は願っている。	県民生活
20G03701	私は、一般的な家庭と貧困家庭での子どもたちの教育格差が課題であると考えました。なぜなら教育格差は仕事を始めてからの収入や雇用の形態などの経済格差につながると思ったからです。そして、自分自身の生活や労働環境だけでなく将来を担う子供の教育にも影響が及んでしまっていて、負のスパイラルから抜け出せなくなってしまう。 だから、教育格差をなくすために、2つ取り組みを考えました。1つ目は、学校教育について高校の夜間学校や通信教育の整備です。 2つ目は、家庭教育について図書館の充実性です。 以上のように、大学進学の普及やグローバル化やIT化など社会の変化にあった教育の機会をどの家庭の子どもにも平等に与えられるように自治体で支援体制を整えていくべきだと思います。	教育・子育て
20G03801	プロジェクト6 産業振興 神奈川県は都道府県の中で比較的大企業が多い県であり、経済発展がこれからの時代も見込まれると思うが、同時に中小企業の数も多いため、これからはいかに中小企業を守っていくかが大事であると思う。大企業で扱っていないものを提供しようと考える、起業する人もいるが、そうした人たちが景気に左右され、経営破綻しないように県としてそういった経営者を守っていくための施策といったものを展開してほしいと感じる。震災時には金融円滑化制度などを使い、債務の返済に猶予をつけたりしていたが、現在のコロナ禍では住民が利用しているような店でも倒産してしまっていることがあった。そのため住民生活を便利にしていくといった観点からも中小企業の経営は守っていかなければならないのである。また、技術革新(イノベーション)の分野では産学官で連携し続け、健康分野をはじめとしたあらゆる分野で先端の技術を提供できるようにしていくとともに県が財源的にも支援していくことが必要であると感じました。	産業・労働
20G03901	プロジェクト13「子ども・青少年」 神奈川県は令和2年4月1日時点での待機児童数が496人とここ数年では減少傾向にあるものの、依然として待機児童は社会問題となっており解決すべき課題といえます。特に少子高齢化・人口減少が急激に進行している現在、これからの社会を支える担い手となる子どもを産み育てる環境を整備することは、様々な政策のなかでも特に優先すべき事項だと考えています。保育士の待遇改善による人材確保や特に希望の多い0～2歳児を対象とする小規模施設の開設、幼稚園の延長保育推進など多様な環境整備を行う必要があります。少子化対策にあたっては欧米諸国の取り組みの模倣ではなく、日本という国独自の原因を探り、独自の対策に取り組むことが重要だと考えています。 ひと1人がその生涯をかけて国に納める税金は1億前後といわれています。長期的な視点でみれば産み育てる環境を整え出生率を高めることは将来への大きな投資ともいえ、今以上に大きな予算を掛けて大規模で多面的な支援政策を行うべきではないでしょうか。	教育・子育て
20G04001	プロジェクト1「未病」 未病以前の「新型コロナウイルス」が蔓延していて、どのようにして未病改善をしていくのかが課題であると感じました。体を動かすイベントなどをオンライン化によって継続する必要があるのではないかと思います。	健康・福祉
20G04002	プロジェクト3「高齢者」 このプロジェクトの取り組みである、「健康・生きがい作り」という点で、新型コロナウイルスの影響による活動の消極化をどのように解消していくかという課題があるのではないかと考えました。	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G04003	プロジェクト17「雇用」 このプロジェクトではワークライフバランスの実現や、多様なニーズに対応した就業支援をするというのですが、ニュースなどで「コロナの影響で内定が取り消しに」と言った内容のものを何度も目にしたので、その点をどのように解消するのが課題になると考えました。	産業・労働
20G04101	柱1の健康長寿についての取り組みをすべきだと思う。今自分は社会福祉について学習している。その中で、高齢者や障がい者などの支援について様々なことを考えて来た。障がい者や高齢者が住みにくい県より、住みやすい場所にし、誰もがその人らしい暮らしをできることが一番だと感じるからである。また、地域社会を実現するために、安心して元気に暮らしていけることが一番なのではないかと感じたからである。また、それらには病気になることや、病気になっても医療による充実を目指していくことで、福祉先進県を目指していけることが可能になると思う。県は人がいないと成り立たない。そのため、誰もが安心して暮らしていけるといいと思う。	健康・福祉
20G04201	プロジェクト1未病 3高齢者 最近では医療技術などの発展に伴って資料の年数に差はあるが、平均寿命(2019年)は女性87.45歳、男性81.41歳であるが、健康寿命(2016年)は女性74.79歳、男性72.14歳となっている。この平均寿命と健康寿命の差を埋めることが課題であると思った。その差の期間は寝たきりや介護が必要になる可能性が存在し、少子高齢化や高齢者の増加傾向にあり、それが問題視されている現代でその差が大きいと老老介護などの問題にも繋がる。医療は健康寿命の増加にも影響は少なからずあると思うが、どちらかというと平均寿命の増加への影響の方が大きい。しかし、未病という考え方は病気になるないためという点で健康寿命の増加に大きな影響を与えると考えた。なので、寿命差を埋める対策として未病には力を入れるべきだと思う。黒岩知事の話聞くまでは未病について少しも知らなかったのが、内容や考え方はとてもいいのもっと周知してもらおう活動が必要だと考える。	健康・福祉
20G04301	プロジェクト13 子ども・青少年 コロナによる生活の変化を背景として、子どもの自殺が増加したというニュースを目にした。そこで、こういった事態により起こる子どもと青少年たちの孤独化、あるいは孤立化を防ぐことが急務となっていると考えた。かながわグランドデザインのこのプロジェクトには子どもたちの自殺防止に関するサポートが見当たらなかったため、県でも考える必要があるのではないかと考えた。	健康・福祉
20G04302	プロジェクト18 地域活性化 今後県内でも人口減少が起こるとなれば、他県から人を呼び込んだり、現在神奈川県に住んでいる人たちがその地域に愛着を持ったりするようにしていかなければならない。	県土・まちづくり
20G04401	プロジェクト8「農林水産」では、担い手不足や高齢化によって衰退が見込まれています。若手がやり続けるためには経営面や技術面で支えることは必須ですが、労力に見合わないと思われたいのためにも売り物の一部を県や自治体で高値で買い取り学校給食でふるまうようにできればと思いました。この方法は経営者が県や自治体にしか売らなくなる危険性もありますが、今回のコロナで売れなくて困っている人たちから買い取ることで赤字によって倒れてしまうところを立て直すことができるようになると思います。	産業・労働
20G04501	プロジェクト3 高齢者 県内でもよく高齢者の方を見かけますが今のご時世的にも外出を避けている高齢者の方は多いのではないかと感じます。そこで高齢者の方にもSNSなどで趣味の仲間と繋がれるように無料のパソコン教室やスマホ教室などをオンラインで開催するのはどうかと思いました。私たちが普通に使い始めたzoomなどを高齢者の方も使いこなせるようになったらお家にもお友達と気軽に話をするのが可能だと思うからです。そのために高齢者を狙った詐欺や認知症による不要な買い物を防ぐためにも安全なフィルターをかけたパソコンをレンタルするといった企業があると高齢者の方もそのご家族の方も安心してインターネットを使用できるようになるのではと考えました。	健康・福祉
20G04601	正直な意見を言うとこの県のプロジェクトのなかでは特に進めてやって欲しいことはあまり無かった。今のコロナ渦という現状、莫大な学費、学ぶことが学生の仕事といわれるが、その学ぶことに対しての保証のプロジェクトがどこにもない。私はコロナで家庭の収入が減り学費を払えなくなった為退学を余儀なくされたが、制度を使い延納という形で現在在学できている。自分以外にもこういった学生は地球上山ほどいると言えればそれまでだが、下には下がいると思わないと行けないこの現状が私はとても悔しい。学生は学ぶことが仕事と言われて来たが、案外そうでも無いことに最近気づいた。学ぶために仕事で収入を稼がないといけませんが、その仕事によって学びに支障が出てきている。私の頑張り甘いのだろうか。私に取り組むべきだと思うのは、学生の学習環境の安定化だと考える。	教育・子育て

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G04701	<p>1 行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川 2 いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川 3 県民総力戦で創る神奈川</p> <p>の三つについてだが、1については今の時点で十分なのではないだろうか。隣の県の静岡出身である私からすると今の状態でも神奈川県は魅力的であり、十分だといえるだろう。 2については医療関係を充実させることが最も重要なのではないだろうか。今のコロナについての対応の仕方によって2を達成することができるかどうかが決まると思う。感染者がいたずらに増えるようなことがあればこれについては厳しいのではないだろうか。 3については意識をそのように誘導することが重要なのではないか。誰かが頑張ってもさぼる人がいればそれで終わりです。全員が頑張るように意識を誘導し「努力をしていない奴はダサイ」というような意識付けをすることが重要ではないか。</p>	その他
20G04801	<p>かながわランドデザインの各プロジェクトにおいて、神奈川県が取り組むべきことは、プロジェクト7の「観光」についてだと考える。何故かという、観光業は神奈川の経済に大きく影響し、改善することによって、神奈川の経済が良くなっていくと考えるからだ。「かながわランドデザイン第3期実施計画プロジェクト編」26ページには、観光について記載されている。その中の指標を見ると、観光消費額総額、入込観光客数が減少していることが分かる。つまり、神奈川県を訪れる観光客を増加させ、消費額を増やす。消費額が増えることによって、経済が良くなっていく。従って、プロジェクト7の「観光」が課題の1つであると考えます。</p>	産業・労働
20G04901	<p>かながわランドデザインのプロジェクトにおいて、私が今後県が取り組むべき項目として「観光」により力を入れるべきだと考えます。理由としてはこれから東京オリンピックの開催などで国内外からの観光客がたくさん訪れ、神奈川県魅力を発信していくチャンスになり、コロナ禍の中で落ち込んだ観光業の再建が必要不可欠であり課題になっていくからです。神奈川県は横浜、鎌倉、箱根など世界に通用する観光地があり、他にもまだ有名でない観光地の魅力を発信していき、観光業が発達することで地域の活性化や雇用の創出につながります。</p>	産業・労働
20G04902	<p>観光地の周辺施設の整備を行い交通の便をよくすることで気軽に観光に来てくれる人々も増えると思うので、神奈川県魅力発信と環境を整えることが大切だと思います。</p>	産業・労働
20G05001	<p>私が思った県が取り組むべき今後の課題とは減災に向けた働きであると考えました。簡潔に課題とは自助や共助について知ってもらう、関心を持ってもらうことであると思いました。災害時に公助よりも自助や共助の方が先に動けるので減災をするために知ってもらうだけでも十分に意味があると思いました。</p> <p>県は地域のイベントなどで減災について広報を行ったり、小学校や中学校で減災における意味やどういった動きをしたらよいのかについての講義を行うことにより広めていくことができると考えました。また、最近ではYouTubeを視聴している人が多いことから減災についての動画を投稿を行い知ってもらうことが大切であると考えました。</p>	安全・安心
20G05101	<p>私が今後神奈川県が取り組むべきであると考えるのが、水素ステーションの拡充です。県内にある日産自動車を初めとした世界各国の自動車会社の開発により電気自動車が一定数普及し、現在では電気自動車の充電スポットがあらゆる所に設置されています。しかし電気自動車は充電に非常に時間がかかるというデメリットがあると私は考えています。そこで今一番ガソリン車に変わりうるエコカーは燃料電池車であると考えています。国内のトヨタ自動車販売されている「MIRAI」や燃料電池バスを初めとして、今のトレンドは燃料電池車であるにも関わらず水素ステーションが圧倒的に不足しているため、普及率は今ひとつというのが現状です。水素という新しいエネルギーの普及には行政による後押しも必要であると考えます。</p>	エネルギー・環境
20G05201	<p>私は、プロジェクト3の高齢者について取り組むべきだと思います。これから高齢化社会となっていくことが全国的に課題となっているなかで、高齢者の方々が安心して、元気に生活できる環境が必要だと思うからです。介護施設があっても介護士が不足しては意味がないので、人手を確保することがまず必要だと思います。また、介護士による高齢者への虐待行為がニュースに取り上げられたこともありましたが、そういったことがないように、教育する必要もあると思いました。</p> <p>高齢者の方々でも、楽しい日々を送ってもらうために、高齢者同士でスポーツチームを結成して、大会を開いてみたり、地域の子どもと交流できるイベントを開催してみたりするのもいいのではないかと思います。</p>	健康・福祉
20G05301	<p>未病については、この概念をより多くの県民(国民)に伝える事、未病に関連して健康への考え方を普及し実感してもらう事が神奈川県が取り組むべき事だと思います。</p> <p>なぜなら、現在コロナウイルスの影響により多くの県民が感染症の症状など健康に対して敏感になっている中で、特に未病の概念、健康への目指し方が非常に重要になっているからです。</p> <p>未病センターなどといった気軽に市民が立ち寄れる健康関連の施設の設置やその数を増やす事で、健康についてアドバイスを得られる場を増やしたり、自身の健康状態をスマホで確認出来るアプリの使いやすさ向上、更なる普及を目指す事が必要だと思います。</p>	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G05401	いつも、我々の暮らす神奈川県を行政をおこなっていただき、ありがとうございます。 このコロナ禍において、市町村をまとめ、未曾有の事態に立ち向かっていらっしゃる県職員の皆さんには感謝しかありません。 本題ですが、PDCAを踏まえた上での神奈川県を取り組みに対する本気度を感じました。 しかし、行政の発行する資料というのはやはり細かいところまできちりと書いている分、いささかわかりにくいかなとは感じました。(県民として神奈川県がこのような取り組みを行っていることも初めて知りました。)	その他
20G05402	横須賀市民の私にとっては、三浦半島の陸の孤島状態(建設用地が限られているのは承知のうえですが)を是非解消していただきたいと思っております。	県土・まちづくり
20G05501	プロジェクト10 治安 サイバー犯罪の被害防止に向けた広報啓発活動で被害防止に向けた広報啓発活動とあるが、確かに広報活動も重要ではあるが捜査能力の向上が必要だと私は考えます。 2012年ではありますがパソコンの遠隔操作事件で警察は誤認逮捕をしてしまいました。海外の警察機関と比べてもかなりの遅れたサイバーセキュリティ技術しか持っていなかったことを日本の警察は露呈させてしまいました。 サイバー犯罪はフィッシングやウイルスメールなど初歩的なものもあります。それらに対してはパソコンの知識のない者でも一定の予防は可能ですが、そうでないより高度なインターネットを利用した正にサイバー犯罪を行うもの。そのような犯人をつき止め検挙することが重要だと考えます。	安全・安心
20G05601	プロジェクト17 雇用 昨今の不況やコロナ禍で、人々は雇用の問題に関して神経質になっている。 また長寿命化でより長く働きたいと考える人も増えている。 それらを踏まえると、実務面でのスキルアップに繋がる教室等を県が支援して開く事ができると思う。 例えば、ITに強い人材が世間では求められているから、ICTスキルの向上のためにパソコンの利用に強くなれるようにした	産業・労働
20G05701	プロジェクト5エネルギー 地球温暖化の進行は、急速です。政府は、2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにし、脱炭素社会を実現するという目標を示しました。国、自治体、企業は、早急に取り組んでいく必要があります。県では、プラスチックごみを燃やさず再利用する取り組みや電気自動車の普及のための条件整備をすることなど取り組みを強化する必要があります。	エネルギー・環境
20G05702	プロジェクト7観光 県には、多くの観光資源があります。しかし、十分に整備がされていないところもあります。トイレや駐車場の数、食事をする場所などの基本的な施設の整備点検を取り組む必要があります。また外国人観光客に対応するため、案内表示や外国語のできるボランティアなどを配置する取り組みをさらに強化する必要があります。	産業・労働
20G05801	プロジェクト16 スポーツ かながわグランドデザインの実施において、私はスポーツの発展が重要になると考えている。人生100歳時代といわれる現代だからこそ、運動は欠かせない発展要因の一つと言える。史上類を見ないオリンピックの延期は、誰もがネガティブなイメージを持ってしまいがちである。しかし、工夫次第では通常とは「一風変わったオリンピック」の成功へと繋げることができる。コロナ禍の社会で新たに発展した情報機器との融合により、大会運営や経済効果をより効率的に促すことが可能となるため、県民総力戦で現在の人類が利用できる最大限のテクノロジーを駆使して大会開催に尽力すべきである。	県民生活
20G05901	神奈川県も一部種目でオリンピックの会場になるのでそれに向けて開催にあたっての準備を進め、また感染症対策を万全にして選手が安心して競技に集中できる環境を作っていく大会を無事成功させる。 神奈川県を自然を生かし子供たちにもっとスポーツと触れ合う機会を増やし、子供たちに運動に興味をもってもらい、運動能力の向上を目指す。また体育センターや運動施設の整備や活用を促進してスポーツをする場を整えアスリートの育成に力を注ぐ。	県民生活
20G06001	柱Ⅳ「ひとのチカラ」のプロジェクト14「学び・教育」というところで、生涯学び続けられるというのは良いと思った。そこに世界中の人とのテレビ電話の時間などがあると世界での勉強にもなるし、友達範囲が広がっていくと思う。	教育・子育て

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G06101	<p>プロジェクト14 学び・教育 私は神奈川の人間でないので、神奈川県がいまどうなっているか、どういうところがどういう風に良くなっているのかわからないので今住んでいる長野県での取り組みを参考に書かせていただきます。長野県の飯田市では「リンゴ並木」といって中学生がリンゴを育てる活動を行っています。リンゴを育てることで地域の特産品を知り、生物を育てることを学習できます。また、その周りを市が重点的に再開発したことで、景観がものすごくよくなり、催し物の拠点として市を活気づけています。教育もできて住民の憩いの場となる飯田市の「リンゴ並木」どうでしょうか？</p>	産業・労働
20G06201	<p>プロジェクト9 減災 やはり、最近では災害が頻発しているので、減災への取り組みは不可欠だと考える。ダイヤモンドプリンセス号の時に活躍した、災害派遣医療チームDMATなどに、災害時に対応してもらい、被害を最小限に食い止めていてもらいたい。また、市民が非常食の準備や、避難場所の確認などを、しっかりと行うことが不可欠であると考えます。</p>	安全・安心
20G06202	<p>プロジェクト10 治安 最近では、高齢者を狙ったアポ電強盗や、ガス点検を装ったガス点検強盗が起こっているため、そのような犯行グループを摘発して、さらなる被害を食い止めていてもらいたい。また、東京オリンピックが控えているので、テロへの対策などにも手を入れていてもらいたいと考えています。</p>	安全・安心
20G06301	<p>自分は、柱Ⅲの安心・安全の観点において、通学路の危険をなくす取り組みを取り入れてほしいと思いました。たびたびニュースで目にする小学生や保育園児、幼稚園児の事故をこれ以上起こさないためにも取り組んでほしいと思いました。自分の家の周りは小学校、保育園ともに近い距離で、その周りに国道につながる道路もあり山の上とはいえ交通量は少なくありません。信号がない横断歩道や、青から赤に変わるのが早い信号の整備などをしていただけると嬉しいです。また信号がない横断歩道には、横断する際に手に持つ旗を設置するなど些細な事にも取り組めば必然と結果はついてくるのではないかと思います。</p>	安全・安心
20G06401	<p>プロジェクト3高齢者健康寿命について。 高齢者に対して暮らしやすい優しい環境づくり、生きがいを見つけるためのサポートも重要ではあると思いますが、高齢者の相手介護をする介護者への負担を軽減する政策も重要だと私は考えました。</p>	健康・福祉
20G06402	<p>プロジェクト5エネルギー、かながわスマートエネルギー計画の推進について。 再生可能エネルギーを広い世代に浸透させるためには、そのエネルギーのメリット、デメリットについて民間の人々に知ってもらうことで幅広い年齢に対してアピールをすることが出来るのではないかと考えました。</p>	エネルギー・環境
20G06403	<p>プロジェクト12男女共同参画について この政策についてはよいと思いますが、実際の現場では良い結果が出ているかわかりません。なので定期的に実際に視察することが良いと考えました。</p>	県民生活
20G06501	<p>現在コロナ禍で、大多数の人は外で運動する機会が減ったと考えるため、プロジェクト16のスポーツに取り組むべきであると思う。現在新型コロナウイルスの影響で、簡単に外出出来ないため、ストレスが溜まりやすい状況にあり、それを解消する一番の手段が運動の促進だと考える。そうは言っても、やはり団体でのスポーツは今では避けるべきであるから、室内で性別年齢問わず簡単に出来る運動の推進や、コロナ対策が万全にされた施設などの環境づくりが課題だと思う。これらのことに取り組むことによって、県民は運動する機会が増え、ストレスの解消に繋がるだけでなく、生活していく上でのモチベーションも維持され、未病の促進にも繋がると考える。</p>	県民生活
20G06601	<p>確かに川崎、横浜の人口は増加。やはり、今後を考えた場合、高齢者のケアは大変重要である。福祉の面では、介護保険等が充実している。また、福祉施設等の設備も充実していると思う。また、医療・年金等の面でも、高齢者は、厚い保護がなされていると思います。しかし、本当に、高齢の方が、幸福を感じているか疑問を感じます。核家族化が進み、高齢の方は、病院、老人ホームに入れられてしまいます。高齢の方が幸せを感じてくれる環境を作るべきだと思います。そのためには、その地域の方の助け・支援が必要だと思います。隣同士、近所の方が、日々、挨拶・会話をし、笑いがある環境を作成すべきだと思います。一部の人のみではなく、地域の皆が支援しあえる社会を望みます。</p>	健康・福祉
20G06701	<p>安心安全の町をつくるためにはまずは犯罪や交通事故を減らすことが最優先だと思っています。私が住んでいる地域では自転車を乗っていて曲がるときに普通はミラーがあって向こう側が見えるようになっていてと思うのですがそれがなくて、向こうから来た自転車と衝突しそうになったことがあります。危険というのはそのような何気ないところで潜んでいると思うので、細かいところまで気を配るべきだと思います。私は青森出身ですが神奈川と大きな違いは夜の騒音がないことです。神奈川に来て夜に眠ろうとしたら、バイクの音がブンブンなっていて寝れませんでした。そのような行為は犯罪なのか詳しくありませんがやめさせるべきだと思います。当たり前のことを当たり前にやるだけで安心できる人は格段に増えると思います。</p>	安全・安心

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G06801	プロジェクト3 高齢者 など 高齢者向けに地域コミュニティなどを充実させていることは分かった。そしてプロジェクト13や14で青少年までと、結婚して子供をもつ世代についても支援がなされていることが分かった。しかし今の自分たちのような世代の人間や学生への取り組みは何もないのかと思った。	教育・子育て
20G06901	プロジェクト9 減災 いつ起こるかかわからず多くの住民の命を奪う可能性がある自然災害は県にとって大きな課題であり、特に南海トラフや首都直下地震および津波に備え「自助」「共助」の呼びかけ等、新しい公共として一丸となり災害対応力を強化していくべきである。 震災発生後は報道もありボランティアとして救助活動に参加する人も多く、大地震に対する意識は高まっていると考えられるが、被災地から離れば離れるほど日が経てば経つほど日常生活で震災について考えることはあまり多くはないのではないのか。 レスキュー隊の訓練はもちろんだが住民の避難訓練、防災グッズや水・食料の準備等、普段から災害に備えることは大袈裟ではないという意識を高めるべきだと考える。	安全・安心
20G07001	私が考えた取り組むべき課題は、交通安全に関するものです。私の住む地域では歩行者と車両それぞれの安全が十分に確保できていないのではと感じる部分があります。例えばスクールゾーンとされている場所が車道と歩道で隔てられておらず、歩行者と車がスレスレのところで行進している場所があります。私も小・中学生の頃に経験しましたが、やはり危険だと感じました。他にはかろうじて歩行者が通れる場所に電柱が立っていてそこを通るにはどうしても迂回して車道にはみ出さなければならぬ場所もあります。小・中学生だけでなく高齢者も多いですし、交通量をそれなりに多いため対策はしなければならぬと思いますが、同時に土地の構造や道幅の関係で策を講じることは難しいと思っています。難しい問題ではありますが、地域の安全のためにこの課題に取り組まなければならないと思います。	安全・安心
20G07101	プロジェクト16 スポーツ サッカーや野球などのプロスポーツチームと連携して地域の人たちが、応援しやすいような環境を作ることで、その街に活気が出てくると思います。具体的には、サッカーだと川崎フロンターレが今強いですが、川崎という街を知らない人でも川崎フロンターレを知っていたら、そこから川崎という街を知る機会が増えて、川崎の魅力を伝える機会が増えて、地域のイメージアップに繋がると思います。	県民生活
20G07201	女性の社会進出について一番自分の中で課題だと考えた。元々、日本社会では女性は子供を産み、育て、家事をするというのが一般的な価値観であり、夫婦片働きが主流だった。しかし、徐々に女性の社会進出は進み、現状では夫婦共働きも増加している。その理由として、日本で急速に進む少子高齢化問題がある。将来的には老人が多くなり、働ける若者の数が少なくなることは必至だ。そのため、男手だけでは将来なり立たなくなってしまうのだ。この問題を解決するために女性が職場に欠かせないという社会を作り上げていくことも少子高齢化に対する解決策なのかもしれない。そのためには、育休などの女性が必要である休みなどを当たり前にするのできる社会にしていく必要がある。以上が課題だ。	県民生活
20G07301	自分はスポーツの普及についてもっと取り組むべきだと思います。特に来年のオリンピックは日本で開催されて、野球、ソフトボールは横浜スタジアムを使用するのでスポーツ活動を広げる活動のチャンスだと思います。生涯を通じてスポーツをやっていくには何かきっかけが必要である人や何かに刺激を受ける人もいると思うので、オリンピックをうまく活用出来たらいいのではないかと思います。また、最近では公園でボールを使った遊びが禁止などスポーツができる場所が制限されてしまっているのが子供たちにもスポーツを楽しんでもらうためには、もっと子供たちの遊べる場所を作ったほうが良いと思います。	県民生活
20G07401	柱V まちづくり プロジェクト18 地域活性化 県西地区は他の東の方の地域に比べて人口が少ないと言うのを見てこれをバランスよく出来ないのかな?と思いました。私が感じたのは県西地区は今のままで同じ神奈川県の中でも東京の方に出勤している人はなかなか定住してくれないのかなと思いました。その原因は首都圏への通勤時間だと思うのですがそこに改善策があると思ってます。例えば東京まですぐ行けるような県西地区限定の快速電車を走らせたり、県西地区から一気に東京まで行けるバスなどを走らせることによって不便さは感じなくなるのではないかと思います。観光の面でも横浜の方には色々な観光名所がありますが県西地区特に小田原周辺は有名な場所がありません。そこで目立つ観光名所をひとつ作れるといいのかなと思いました。	県土・まちづくり
20G07501	プロジェクト2の医療では、「県民が必要な最先端医療を含む医療サービスをうけながら、」とプロジェクトのねらいとして挙げられていたが、現在では、コロナウイルスのさらなる蔓延により病床数が足りなくなるという可能性も考えられる。その点、コロナウイルスの対応だけではなく、他の病気で病院にかかる人の分も確保しなければいけないところが、今後の課題になるのではと考えられる。また、医療人材の育成・確保が具体的な取り組みの柱として挙げられていたが、今回のコロナウイルスの影響により、いつ自分が感染するかわからない恐怖から、辞めたいという声も多く上がっている。そういった医療従事者の方の支援や、医療環境の整備などがより一層求められると考える。	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G07601	<p>プロジェクト16「スポーツ ～誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる社会の実現～」において、子どもへのスポーツの普及を推進していくべきである。2019年度の「子どもの週3回以上のスポーツ実施率」は2018年度の46.5%から減少し、43.8%と記録されており、ならびに「体力テスト総合評価5段階評価のうち、D、Eの児童の割合(%)」の実績値は2018年の31.9%に対し、2019年は32.8%と増加している。子どもの運動不足が深刻である。</p> <p>そこで、スポーツ未経験の子ども達を対象とした「地域のスポーツイベント」の積極的な開催と、各スポーツセンターの無料化を提案する。子ども達にスポーツをより身近にすることで、スポーツに対し興味を抱いてくれるのではないかと考える。</p>	県民生活
20G07701	<p>プロジェクト3 高齢者</p> <p>私は少子高齢社会という社会問題の中で、高齢者一人に対して支える側数人の負担を減らす課題があると思った。取り組むべきだと思うことは、介護用AIロボットの普及やバリアフリーの最新化である。介護用AIロボットを普及させることで、高齢者を支える人の負担が確実に減ると思った。また今ではほとんどの施設にあるバリアフリーを最新のテクノロジー化させることでより安全に高齢者が生活できると思った。神奈川県は、現在ピークを迎えていて、言い換えればその分人手があるということとも捉えられた。なので今のうちに高齢社会のためにできる対策を多くの人で行うチャンスだと思った。</p>	健康・福祉
20G07801	<p>プロジェクト1 未病</p> <p>自身が生活していた中で「未病」の存在そのものや、未病対策センターや健康に関するアプリの存在など、初めて知った部分が多くあった。世界的に考え方が認められていることは理解したが、やはり県民や国民の、「未病」という言葉とその意味の浸透度の低さは、これからの取り組みで改善していくべきであると感じた。そのための取り組みとしては、各地域と連携して、小・中学校教育の段階から未病という考え方や現在行っている様々な取り組みを伝えることが重要だと感じた。未病という概念をより身近にする。現在形成されている社会構造の中にいかに「未病」を組み込んでいくかの方策が必要であると感じた。</p> <p>□</p>	健康・福祉
20G07901	<p>日本では大地震や津波といった災害が多く発生しているので、多くの命を守るために災害に強い街づくりを取り組むべきと考えました。具体的な取り組みについては、津波から逃げるための場所と訓練を行うことです。神奈川県は湘南など海に面している県であるため津波の影響が大きいと考えられます。そのため、海岸や川辺に堤防を作ることにより津波や洪水を防ぎ、町を守ることができます。また災害時に備えスペアを置いておくことが重要であると感じました。地震で電気が止まったとしても、自家発電があることで混乱を回避することができます。あとは、道や橋を複数に分けることによって、災害時に壊れて逃げられなくなっても、別の道から救助に向かうことができると感じました。</p>	安全・安心
20G08001	<p>5つの柱の中の一つの健康寿命に私は焦点をおきました。</p> <p>健康寿命の中でも一番今すぐにでも取り組まなければならないのではと思ったのは医療です。コロナ禍という事もあり医療崩壊などが囁かれる中で神奈川県では感染者が見るたびに多くなっています。未来を見据えても今現在の状況を考えると、医療人材の育成・確保はとても重要視しなければならないことだと思います。医療従事者の人たちの勤務環境はコロナ禍になってからニュースなどで大きく取り上げられています。この問題を解決するには医療従事者の人たちからの実際の声を意見として踏まえて改善に取り組むことが今まで以上に重要だと思います。</p>	健康・福祉
20G08101	<p>プロジェクト13 子ども・青少年</p> <p>コロナ禍により新しい生活様式を求められ、我慢することが多くなった社会。特に、学校に通えなかった、又は通えない学生は多くのストレスを抱える事が多かったと感じる。こういった状況に、もっと早く対応を行うべきである。</p>	教育・子育て
20G08102	<p>プロジェクト16 スポーツ</p> <p>コロナウイルスが流行し、外出自粛が必要になってから、家で引きこもり、運動を行う機会が減った。家でも気軽に、楽しく行える運動を学校で子供たちに教えるなど、外出自粛でも適度な運動を行う事を呼びかける必要がある。</p>	県民生活
20G08103	<p>プロジェクト18 地域活性化</p> <p>コロナウイルスが流行している為、多くの人を集めるようなイベントを行うのは難しい。接触しない、密にならないように、オンラインでイベントを企画、開催し、地域の良さを伝えられるようにする必要がある。</p>	県土・まちづくり

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G08201	<p>新型コロナウイルスは今もお感染者が増加している。ダイヤモンドプリンセス号からの感染拡大などから、神奈川県ではいち早く緊急医療体制である「神奈川モデル」を構築した。</p> <p>しかし医療現場では、コロナウイルス感染患者が増えたとしても、他の疾患がなくなるわけではなく、通常医療と並行して患者対応に当てる必要がある。</p> <p>新型コロナウイルスの第3波といえる感染再拡大の中で、神奈川県としても医療崩壊を防ぎ、通常医療との両立をすることが現段階での課題であり、ICTやAIの積極的な活用や、東京都で12月16日に初めて開設されるコロナ専用病院を神奈川県でも開設するなど、さらなる医療現場の負担軽減に取り組む必要があると考える。</p>	健康・福祉
20G08301	<p>プロジェクト7 観光</p> <p>神奈川県の観光産業は視野が広く神奈川県の経済において重要な役割を担っている。指標を見ると2017年度から2022年度になるとほとんどが増加しているが今日はコロナウイルスが流行しているのでどう対応するかしっかりと取り組むべきだ。</p>	産業・労働
20G08302	<p>プロジェクト11 安心</p> <p>県内の刑法犯認知件数は減少しているが、高齢者を狙った特殊詐欺が多く発生するなど、県民の不安は高いままで各種防犯キャンペーンの参加人数が近年変化してないことから、意識を高めるために各家庭にチラシなどを配布する取り組みを行う必要がある。</p>	安全・安心
20G08303	<p>プロジェクト16 スポーツ</p> <p>体カテストの総合評価がD、Eの児童の割合が3割程度いるのでその評価が一段階でも上がるように地域での取り組みを行えば高齢者との交流にも繋がり生涯を通じて楽しめると思う。</p>	県民生活
20G08401	<p>神奈川県が取り組むべきだと思う課題は、柱Vのまちづくりだと思います。地域を活性化させることで色々なことに影響を与えるからです。その取り組みは、「空き家」を活用することです。内容は、その空き家をリフォームをしカフェやレストラン、雑貨屋さんなど気軽に遊びに来れる場所を作ることだと思います。地元の有名な食材を使った料理を提供したり、家族と一緒に物づくりが体験できる場所を作ることにより世間からの注目を集めることもできます。他にもアーティストを呼んで小規模ライブをしてみたり、美術家の人の作品を飾って観覧できるスペースを作ってみるのも良いと思います。このように「空き家」を使うことにより、その町の新たな魅力が見つかると思います。</p>	県土・まちづくり
20G08501	<p>私が今回、かながわグランドデザインプロジェクトの資料を見てみて、一番気になった課題は、健康長寿です。なぜ気になったかという、今の現代は、コロナウイルス拡大の影響で、健康長寿に関しての対策ができていないのではないかなと思ったからです。</p> <p>健康長寿の課題の中に、高齢者という欄があります。その中に、健康・生きがいづくりがあります。私思うに、高齢者が健康を保つのに一番良いと思うことは運動です。</p> <p>ですが、今の現代は、コロナウイルスの影響で、運動がしたくてもできません。</p> <p>ですので、高齢者施設の中などに、個別で運動できるスペースなどを設立すれば、健康寿命が保てるのではないかなと思いました。</p> <p>そして今、日本では、平均寿命が延びてきているので、このまま右肩上がりになればいいなと思います。</p>	健康・福祉
20G08601	<p>私はスポーツや体を動かすことが好きなので、プロジェクト16のスポーツに興味がありました。社会環境の総人口の変化のグラフを見ると、2000年以降から2020年現在までの65歳以上の人口が年々増加していることが分かり、2020年以降の推計でも今後さらに高齢者が増えていくと予測されています。</p> <p>これは既に社会問題である超高齢社会と同じ状況であることが分かります。そこでプロジェクト16のスポーツの取り組みについての今後の課題や県が取り組むべきことだと思うことについては、実際に今行っている取り組みについては若年層から高年齢層までの課題を解消するために具体的な取り組みをされているなと思いました。今後はもっと多くの人々がこの取り組みに参加することができ、特に高齢者の方々が多く参加することで超高齢社会の改善にもなり、若い方々は未病を改善することにも繋がると思いました。</p>	県民生活

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G08701	<p>5つの柱について、健康長寿の面では福祉先進県をめざすが必要になる。 経済の面では成長産業の創出、観光資源の発掘・磨き上げの促進、農林水産業の活性化などに取り組む必要がある。 安全面では大規模地震などの自然災害等への対策、犯罪や交通事故などの治安上の課題への対応、県民のくらしの不安の解消などに取り組む必要がある。 人のチカラの面では心豊かに躍動する神奈川を目指すこと。 まちづくりでは多様な主体による協働連携の推進、自然環境の保全、環境問題への対応、交通ネットワークの充実などに取り組む必要がある。</p>	健康・福祉
20G08801	<p>プロジェクト7 観光について 新型コロナウイルスの流行で観光客の数が激減し、観光消費の総額も大きく減少することが予想される。先の見えないウィズコロナの時代で今までと同じように観光産業を盛り上げていくには、密にならなくても楽しめる新しい形の観光資源の発掘や、感染症対策を徹底していること、例えば検温などの取り組みをアピールするなど、多くの人に安心して観光に来て貰えるような取り組みをしなければいけないと思う。 県央地域圏の豊かな自然は密にならない観光だけではなく、例えばインターネットを整備して豊かな自然の中でテレワークができるようにするなどの方法もあると思う。</p>	産業・労働
20G08901	<p>私は「いのち輝くマグネット神奈川」を実現するために、未病の考え方をもっと大勢の方に知ってもらうことが大切だと思います。これからの時代は人生100年時代と言われていて、高齢者が長生きできる世の中をつくっていくことが大切だと思います。</p>	健康・福祉
20G08902	<p>障がい者が住みやすいまちづくりも大事だと思っています。差別はなくならないと思うけれど、障がい者施設での殺人事件などが繰り返されないように対策が必要だと思います。 私の家の近くには、障がい者が野菜などを売っているお店が近所にあり、給料も低いと聞きます。オリンピックとパラリンピックが分かれている時点で世界、国が差別をしていると思います。</p>	健康・福祉
20G09001	<p>私は柱Vのまちづくりについて着目をした。まちづくりを進めていくことで地域経済の活性化を図ることができると思うからだ。神奈川県は東京に近い川崎市や横浜市で増えているが、対照的に三浦半島や県西部などでは人口が今後さらに減少すると推測されている。人口が減少すると地域経済も衰退し町に活気がなくなってしまう。それらを防ぐためには人を呼び込むことが大事だと考える。その地域の魅力を再発見してもらう意味で人を呼び込むべきだ。例えば、箱根町は温泉が有名だが、温泉以外にもパンなどのグルメ関係も豊富なのでそういったところをアピールしたり、お得なクーポンやキャンペーンを行い、リピーターを増やすなどの活動も必要だ。</p>	県土・まちづくり
20G09101	<p>18地域活性化 東京オリンピックで日本に来る外国人を狙ってオリンピックの観戦のついでに神奈川県に観光に来てもらえるように広告などを出して宣伝し、そのオリンピックの期間で得た収入を利用して多くの人が住みたくするような地域づくりをしていく。</p>	産業・労働
20G09201	<p>東京から近く自然も豊かだから神奈川県だからこそ安心して暮らせる地域になってほしい。大学も多く、地方から学生が引っ越してくるから犯罪が少なかったりしたほうが安全に暮らせると思う。最近で言うと学生の薬物が問題になってたり、不審者が出没したりと不安なことが多く続いている。例えば24時間パトロールを強化するだったり強化できる場所は強化できるのが一番良いことだと思う。</p>	安全・安心
20G09202	<p>子供・青少年の教育はとても大事だと思う。少子高齢化が進み子供が減っている中にも関わらず、未成年者の自殺数はとても多い。インターネットのトラブルやいじめがきっかけで不登校になってしまう生徒も多い。</p>	教育・子育て
20G09203	<p>また、幼児が保育園に入れないという問題もある。指標になっている安心して子供を生み育てられる数値が上がってくると良いと思う。</p>	教育・子育て

意見整理番号	意見要旨	分野別
20G09301	<p>プロジェクト22 環境 横浜や川崎など、都心部に近くなるにつれて人口が増えていたり観光地も増えていてゴミ問題があったり、車通りも多く排気ガスなどが原因で地球温暖化などの環境問題に発展してくことから、課題であると考えた。そして問題である地球温暖化をどのようにして対策していくか、私たちの出来る動きはどのようなものなのかを明確に表して県民に動きを要請することが必要であると考えた。今後人口が減少していき、高齢社会になって環境問題について動ける人がいなくなってしまう前に今の世代で少しでも環境に良い動きができるようにすることや、ゴミ問題ではリサイクルに取り組むなどが課題や取り組むべきことになっていくと考えた。</p>	エネルギー・環境
20G09401	<p>プロジェクト 9 減災 自身は大学進学にあたり海なし県であり、地震の回数も少ない長野から引っ越して来た。「減災」の狙いとして災害に強い街づくりとある。数年後に大きな地震が予測されているが、長野に住んでいた自身は普段から災害に関して考えることを重要視してこなかった。そこで、災害にあった時のために神奈川県内の避難場所や高台を調べたが詳しく掲載がされていなかったため未だに逃げ場が分からない。そこで、神奈川県で育ってこなくその場を知らない人が理解できるような防災マップの作成の取り組みをすべきと考える。そうすることで、避難場所を認知する人が増えるため、災害の被害者は減少するのではないだろうか。</p>	安全・安心
20G09501	<p>誰もが住みやすい街づくりを目指すことが神奈川の今の目指すことだと感じる。 神奈川は全国でも人口が多い県である。そのためいろんな世代の人や色々な病気や障害を持った人も生活している。体の不自由な人や高齢者の方までが快適に暮らせるようにするための政策や街づくりを目指すことが大切ではないかと感じた。資料でも書いてあるとおり神奈川の県民では障害者への配慮した行動をとっていると思っている人がいまだに半分を越していないということだ。このことはもっと私は重く考えるべき事案だと思う。この結果で感じたのは自分が仮にその立場になって見ないとわからない人が半数以上いるということだ。知事がそこは声を大にして県民に訴えているいろいろな人が快適に過ごせる街づくりを目指して欲しいと考えている。</p>	健康・福祉
20G09601	<p>今の神奈川県の課題として、少子化が進んでいることです。この改善策として、かながわグランドデザインのプロジェクトの5つの柱を重点的に取り組めば、改善できると思います。特に自分は、柱の3と5をやった方が良いと思いました。理由は、犯罪や交通事故が無くなったり、地域の治安をよくしたり、子供達がいつでも遊べる公園を作ったり、幼稚園と保育園の数を増やすなどをすれば子供が住みやすい環境になると思ったからです。子供が住みやすい環境を作れば、夫婦は安心して神奈川県にたくさんの子供を増やすことができ少子化が無くなると思います。 このことを踏まえてこれからは、交通ルールを守ったり、ゴミを拾うなどして環境づくりに協力したいと思います。</p>	教育・子育て
20G09701	<p>現在までの人口推移とこれからの予測データを見れば、人口減少とさらなる高齢化は避けられない問題である。もしも現状のまま人口が減少してしまえば雇用や収入のダウンは避けられないと思う。昔は、胴上げ型という65歳以上に対して20～64歳の人が9.1人で支えていたが現在では、騎馬戦型という65歳以上に対して20～64歳の人が2.4人で支えているという現状だ。もしこのまま改善されずに進んでしまうと2050年には65歳以上に対して20～64歳の人が1.2人で支えることというデータが出ている。さらには社会システムも崩壊してしまい特に医療、介護需要が拡大することが予想される。このことから私は今の神奈川は、人口減少と高齢化についての取り組むべきだと私は思う。</p>	その他
20G09801	<p>今後県が取り組むべきことだと思うのは子ども・青少年についてです。 最近、神奈川県以外でも母親が出産した子どもを公園に埋めたり、十分に食事を与えず、餓死させてしまうなどのニュースをよく見ます。もちろん、母親が悪いとは思いますが、その背景には望まない妊娠であったとか、経済的理由、産後うつになってしまった、など様々な原因があると思います。どの母親も殺したくて殺したわけではないと私は思います。このような悲しい事件を少しでも防ぎ、子どもの命を守るためにもまずは子育ての悩みをいつでも相談できる窓口や手当、支援の充実を図ることが大切であると思います。また、母親一人に押し付けるのではなく、父親やその周りの人が支えてあげることがこのような事件を減らす1番の方法だと思っています。</p>	教育・子育て
20G09901	<p>評価報告書 柱Ⅱ経済のエンジン プロジェクト5エネルギーについて意見陳述いたします。 「A 再生可能エネルギーの導入促進 太陽光発電に係るイベントなどへの来場者数(人)」に燃料電池、蓄電池に係るイベントを追加すべきです。 「B安定した分散型エネルギー源の導入促進 水素ステーションの設置数(総数)(箇所)」に電気自動車の充電ステーションの設置数を追加すべきです。 他にも、電気自動車・燃料電池の導入促進を追加すべきですが、いかがでしょうか。</p>	エネルギー・環境